

答え合わせ・解説

問1	答え 1 石高	太閤検地で全国の土地の収穫量を米の量(石)で計算する「石高」制が確立されました。1石は約150キログラムの米で、当時の大名や武士は、自分が領地からどれくらいの収入を得られるか、またどれくらいの軍役を課されるかをこの石高で計算しました。
問2	答え 4 古典文化	ルネサンスでは、それまで顧みられていなかった古代ギリシャ・ローマの文学や哲学、美術を再発見し、そこにある「人間らしさ」を学び直そうという動きが起こりました。これは単なる模倣ではなく、新しい表現を生み出すためのエネルギーとなりました。
問3	答え 3 宣教師	宣教師(バテレン)は、日本で教会を建て、学校を設立してキリスト教の教えを広めました。しかし、秀吉は日本人が信徒になることや、寺院が破壊されるなどの影響を嫌い、彼らを国外へ追い出しました。
問4	答え 4 文禄・慶長の役	この出兵は、時期によって二回に分けられます。最初の1592年の戦いを「文禄の役」、1597年から始まった二度目の戦いを「慶長の役」と呼び、これらを総称して「文禄・慶長の役」と呼称します。朝鮮軍の必死の抵抗や、李舜臣率いる水軍による反撃、さらに明の援軍により、戦況は長期化して膠着状態に陥りました。
問5	答え 1 バテレン追放令	戦国時代から安土桃山時代にかけて、キリスト教は急速に広まりました。しかし、九州地方での寺院の破壊や、権力に対する脅威を感じた豊臣秀吉は、1587年にバテレン追放令を出しました。この法令により宣教師の国外退去が命じられましたが、南蛮貿易による利益を考慮したため、すぐには完全な禁教には至りませんでした。後の江戸幕府による鎖国体制への先駆けとなる政策の一つです。
問6	答え 3 安土	信長は、既存の権力構造を打破し、経済を発展させるために安土城を建設しました。安土は現在の滋賀県に位置し、そこには楽市・楽座が敷かれました。この場所で試みられた政策は、のちの城下町のモデルとなりました。安土の地は、日本史上最初の本格的な近世城郭の建設地として、当時の政治・経済の中心地として栄えました。
問7	答え 2 荘園制度	豊臣秀吉は、こうした古い階層的な土地所有関係を否定しました。土地ごとに耕作する農民一人を名主(なぬし)として登録し、その農民が年貢を納める責任を持つ「一地一作人」の原則を打ち立てました。これにより、貴族や寺社の特権的な収益は失われました。
問8	答え 1 狩野永徳	狩野永徳は、桃山時代の豪壮な気風を表現する代表的な絵師です。彼は『唐獅子図屏風』や城の障壁画など、金箔を背景に大きなモチーフを描く独特の作風を確立し、当時の権力者の屋敷や城を豪華に彩りました。
問9	答え 1 聖書	ルターやカルバンは、信仰の根源は教皇の教えではなく「聖書」にあると説きました。この主張により、一般の人々が聖書を読み、自分たちで教えを解釈する動きが広まり、印刷技術の発達によって翻訳された聖書が広く普及しました。
問10	答え 2 城郭	安土桃山時代の城郭は、石垣を高く積み、高い天守をそびえさせることで防御力を高めるとともに、権力者の威厳を示す象徴となりました。その内部はふすまや壁に狩野永徳らによって金碧障壁画が描かれ、豪華な空間に仕上げられました。
問11	答え 1 豊臣秀吉	豊臣秀吉は、全国の土地の広さや生産力を調査する「太閤検地」を行いました。また、農民から武器を取り上げる「刀狩」を実施し、農民が武器を持つことを禁じました。これにより、武士は城下町に集まり、農民は村で耕作に専念するという「兵農分離」の体制を確立しました。
問12	答え 2 第15代将軍	足利義昭は、織田信長を頼って上洛し、第15代将軍に就任しました。しかし、信長の意向に従わなかったため、後に信長と激しく対立することになります。
問13	答え 2 イエズス会	イエズス会は規律が厳しく、教育や海外宣教に非常に熱心な団体でした。1549年に日本を訪れたフランシスコ・ザビエルもその一員で、キリスト教の教えを伝えたことで、日本に西洋の文化や思想がもたらされました。
問14	答え 3 城郭	安土桃山時代の城郭は、高い石垣や天守閣を備えた壮大な建築物であり、内部には金箔を貼った障壁画などが飾られました。豊臣秀吉の大坂城などが代表的で、当時の高い建築技術や芸術性を伝えています。
問15	答え 3 桃山文化	桃山文化は、金箔をふんだんに使用した障壁画や、雄大な城郭建築などが特徴です。狩野永徳などの絵師が活躍し、また茶の湯などの独自の文化も発展しました。非常に華やかで勢いのある文化です。